

評価

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

III 健康と体力

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	外部評価委員のコメント
健康や体力向上への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	良好	良好	①子どもたちが一番苦手としている食材は野菜である。学校独自で「野菜」とか「魚」など特定の「〇〇克服週間」みたいな取り組みができないものか。②運動や外遊びを積極的に行う児童が多くよい状況と考える。普段の運動から体力テストの低位データの克服につなげられないだろうか。③メディアコントロールは家庭の協力が得られているようで好ましいと感じる。児童の学校での状況を保護者に伝えながら継続させたい。④感染症や熱中症などの対策が大変よく実施されているようありがたい。
	年度			
【前期(→年度)】 ①給食センターの栄養教諭を招いて、食に関する指導を行った。2学期までに全学年で実施する。学年に合わせた指導を行うことで、自分たちが食べている物にどんな栄養があるか、なぜバランスよく食べることが大切なのか知ることができ、苦手だった物も少しは食べようという意識が高まった。 ②運動会に向けて「ジョギングナウ」や「ラジオ体操」、運動する楽しさを味わわせるための「〇〇チャレンジ」など、チャレンジ運動委員会が主体となって体力向上に向けた取組を行った。また、「教育長杯ロープジャンプX」には、3年生以上が参加した。記録更新を目指しつつも、仲間とともに協力し、運動することの楽しさを味わうことができることを重点におきながら取り組んだ。運動や外遊びを積極的に行う児童が多く、「いつもしている」「だいたいしている」と答える児童が85%を占め、体を動かす意欲が高い状態を維持できた。 ③メディアコントロール週間では、サミットリーダー委員会、すこやか保健委員会を中心に、全校児童に呼びかけを行った。子どもたちが自発的に活動したり、東中学校区で一斉にメディアコントロールに取り組む日が設定されたりしたこと、家族で取り組もうとする意識が高まった。また、9月のメディアコントロール週間では、小中幼保の連携として大館カトリックこども園と有浦保育園も参加した。 ④休日明けの2日間はマスクデーとし、感染予防を行い、暑い時期は熱中症対策を優先している。 ＜後期の取組＞ ①大館食べっこ委員会が、給食の献立に使われている食材や栄養について毎日放送で伝えている。バランスよく食べることなどへの意識が高められるよう今後も継続していく。(ワンダフル給食・もりもり食べよう運動・ありがとう給食) ②新体力テストのデータを基に、体力の向上を図る運動を取り入れ、体育の授業で実施する。また、チャレンジ運動委員会を中心とした、楽しみながらできる体力つくり運動を実施していく。外遊び、室内遊びを積極的に呼びかけていく。 ③2学期、3学期にもメディアコントロール週間を設ける。大館市の取り組みと合わせてメディアコントロールへの意識を高め、望ましい生活習慣が醸成されるよう継続して取り組んでいく。 ④新型コロナウィルスやインフルエンザなどの感染症対策の意識付けをしたり情報発信をしたりするなどの保健指導を継続していく。				
【年度(→次年度)】				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
6 保健指導	(6)健康な生活習慣の形成	保健指導(健康観察・清潔検査等)、清掃活動の充実、感染予防の徹底	4	
		給食指導、食に関する指導の実施		
7 体力の向上	(7)継続的な体力つくりの実践	体力向上のための指導の充実	4	
		体力テストの実施と分析・活用		
8 メディアコントロール	(8)適切なメディアコントロールの実践	メディアコントロール週間の実施と分析・授業(指導)への活用	4	

